

市長と議会との意見交換会が10月30日に開催されました。5月18日の新型コロナ対策に続いて2回目、今回は市長選公約の意見交換。議会からは議会運営委員、総務・厚生文教・産業建設各常任委員長、執行部からは市長公室長、総務・総合政策部長が出席、日本共産党議員団からは議会運営委員の小西議員が出席。大阪市廃止再び否決分断乗り越えよりよい大阪市へ

2期目の公約について 市長と議会との意見交換会

会議の目的

今回の交換会は、岩永市長2期目のスタートにあたり、市長選挙の公約に基づき、議会との政策形成過程の初期において、課題認識を共有し、政策の熟度を高めるために、市長からの申し出で開催されたもの。

会議の進行は議長がつとめ、冒頭市長から20分野135項目の市長選公約の政策作成の視点(上欄掲載)が紹介されました。

多様な意見

出席者からは「コロナで地域の行事が中止となり、人のつながりが弱くなった」「人と会おうのがこわいという人が出ている」「これまで

市長提案の「新しい豊かさ」を追求する視点

1. 自然と調和のとれたセンスのある景観づくり
2. 「自分らしく」誇りと逞しさ養う次世代教育
3. アフターコロナを見据えた医療体制の充実
4. 誰にも居場所がある支え合いの福祉
5. スマートシティ、スマート自治体による利便性の向上
6. 時代を超えた歴史、文化、芸術に包まれた豊かな暮らし
7. ローカル経済による支え合いと安全な消費づくり
8. 都市部とのアクセスメリットを活かした便利なゆっくり暮らし
9. 若者層が挑戦できるまちづくり
10. 誰もが移動しやすい市内交通ネットワーク環境

市民の良識、共同の勝利

大阪市廃止再び否決 分断乗り越えよりよい大阪へ

大阪市を残し、その力を生かすことを市民は選びました。大阪市廃止の是非を問う住民投票が1日投票開票され、反対69万2996票、賛成67万5829票で反対多数で、大阪市は存続することになりました。

市廃止の否決は前回2015年5月に続き2度目。住民サービスが維持できるかどうか

大きな争点で、自主財源が3分の1になる一方、特別区設置に15年間で1300億円のコストが掛かることなどの正しい情報を提供して市民に訴えました。

甲賀市からも議員団はじめ市民が現地での支援に参加しました。



「広報広聴でなにを伝え、なにを聴くか」 全議員の研修

必要とされてきたことがそぎ落とされた」「出口がみえないもとで不安が広がっている、経験したことのない事態で元に戻るのかどうか大きな課題となっている」などの意見が出されました。

小西議員はアフターコロナを考える視点として、コロナ禍で何を学んだか、何を教

訓とすべきが大切。コロナ危機で明らかになったのは、医療、介護、雇用、経済、教育など、あらゆる分野で社会のぜい弱性が浮き彫りになり、自己責任ではなく、人々が連帯して支えあう地域づくりを行政がいかに下支えするかで視点が政策を進めてほしいと発言しました。

また、今後の意見交換会については、政策形成の議論であるので会派長の出席、政策形成の基本は議会での議論であることを前提にした会議運営が大切、出された意見は全議員が共有できるようにとの意見を述べました。

「広報・広聴の機能を発揮するしくみとデザインを考える」をテーマに全議員の研修が10月29日行われました(写真上)。講師は龍谷大学政策学部教授の土山希美枝氏。

土山教授は、議会報告会(市民との意見交換会)の在り方、広聴から政策提案までのプロセス、広報のSNS活用などを、議会の政策形成過程、広報と議員、議会の関係などの角度から全国の議会の経験も紹介し講演しました。最後に参加者からの質問とコメントに答えていただきました。

12月定例会日程

- 11月26日(木) 本会議・会派代表質問
 - 11月30日(月) 本会議・議案上程
 - 12月8日(火) 本会議・議案質疑
 - 12月9日(水)・10日(木)・11日(金)・14日(月) 本会議・一般質問
 - 12月15日～18日 各常任委員会
 - 12月23日(水) 本会議・討論・採決
- ◎みなさんのご意見・ご要望をお聞かせください。
 請願の締め切りは11月18日(水) 正午です。

11月臨時議会での新型コロナ対策

補正予算案

11月9日に開催される市議会臨時議会に提出される一般会計補正予算算(第6号)の概要は以下のとおりです。

- 新型コロナウイルス感染症により影響を受けた伝統工芸支援のため、宿泊事業者が観光誘客を行うための伝統的工芸品(信楽焼)を購入する費用の助成として、地場産品販売促進事業補助 664万円(全額一般財源)
- 来年一月の成人式を、コロナからの「3密」を避けるため、分散会場とオンラインなどの費用、100万円(全額一般財源)

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2020年 11月 8日 第331号



山岡 光広
 甲南町森尻 16
 TEL 86-2985
 Fax 86-0415



小西喜代次
 信楽町勅旨 456
 TEL 83-0765
 Fax 83-0765



岡田 重美
 土山町南土山甲 78-15
 TEL 66-0696
 Fax 66-0696